

事前評価書

年度	8
整理番号	

事業名・路線名等		道路改良事業 国道213号 道の駅くにさき	事業主体	大分県
所在地		くにさき くにさき おわら 国東市国東町小原		
事業概要	事業の目的	道の駅駐車場において大型車駐車マスの追加整備を行い、必要台数を確保することで、道路利用者の利便性向上及び地域活性化拠点としての機能向上を図る。		
	事業内容	【計画面積】 A=3,550m ² 【現況面積】 A=1,770m ² 【交通量】 小型車 7,000台/日 (R3センサス)、大型車 819台/日 (R3センサス)		
	事業費	C=120百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から2年(令和9年度)		
	事業段階毎の実施計画	1年目 立木補償、駐車場工事 2年目 駐車場工事 完成		
事業の必要性	必要性・緊急性	・国道213号は国東半島の外周を結ぶ地域の主要幹線道路であり、当該箇所には休憩施設のほか、国東市の地域振興施設(飲食店、観光案内所、サイクリングターミナル等)も設置されている。 ・大型車駐車マスについては、必要台数5台に対し現状1台分しか確保されておらず、道路利用者から増設の要望が挙がっている。 ・駐車マスの不足を補完している隣接敷地において、国東市による公園整備(令和10年4月供用開始)が予定されており、今後は大型車の駐車が不可能となる。		
	整備効果	・大型車駐車マスの必要数確保及び各施設を一体的につなぐ駐車場整備を行うことで、道路利用者の利便性向上を図る。 ・国東市の公園整備と合わせた駐車場整備を行うことで、地域活性化の拠点としての価値向上を図る。		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	駐車場整備は道路利用者の休憩機能確保等を目的として行うため、費用便益分析による評価は実施しない。		
	工法の妥当性	・道路法、道路構造令等に適合した工法を採用する。 ・施設形状、施工性、経済性等の観点から総合的に判断する。		
	コスト縮減	・アスファルト、砕石は再生資材を利用する。 ・建設発生土については隣接する国東市の公園整備に流用する。		
	環境等への配慮	・周辺の住環境への配慮として、低騒音、低振動型の建設機械を使用する。 ・周知遺跡内(黒津崎古墳群)であるため、関係機関と協議を行い、文化財の保護を図る。		
事業実施環境	事業の実効性	・国東市から要望書が提出されており、地元および市の協力体制は整っている。 ・国東市と維持管理協定の更新を締結予定。		
	事業の成立性	・社会資本整備総合交付金交付要綱に規定された事業内容、採択基準の要件に適合。 ・地元の合意は得られている。		
	事業の特殊性	令和10年4月、国東市整備の公園が供用開始予定。		
対応方針		以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		